



株主の皆様へ

第155期 事業報告書
2022年4月1日から2023年3月31日まで

エンシュウ株式会社

証券コード 6218

Corporate Philosophy

経営理念

売ってよろこび、
買ってよろこび、
作ってよろこび、
一生懸命につとめ
共生共栄を旨とする



本社および高塚工場



浜北工場

Contents

目次

株主の皆様へ	2
事業の概況	3
トピックス	5
エンシュウのグローバルネットワーク	7
連結事業別売上及び受注の状況	8
業績の推移	8
連結財務諸表	9
個別財務諸表	11
株式の状況	13
会社の概況	14

Top Message

株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、日頃より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当連結会計年度における経済は、新型コロナウイルス感染症による厳しい状況が緩和される中で景気の持ち直しの動きがみられる一方、ウクライナ情勢の長期化や海外景気の不透明感、原料価格の上昇や供給面での制約等による下振れリスク等に見舞われました。

このような情勢の中、当社グループは従業員の安全を確保しつつ受注活動に努め、国内外に拡販を図るとともに、生産効率化や原価低減などの推進に取り組んでまいりました。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は、工作機械関連事業、部品加工関連事業ともに増収し、24,813百万円(前期比3.8%増)となりました。

損益につきましては、工作機械事業において新規開発や展示会出席を積極的に行った結果、及び部品加工事業におけるエネルギーコストの高騰により、営業利益は79百万円(前期比89.4%減)、経常損失は39百万円(前期は経常利益638百万円)となりました。親会社株主に帰属する当期純損失は104百万円(前期は親会社株主に帰属する当期純利益370百万円)となりました。

当社は急速に進むEV化への対応や攻めの姿勢での新市場開拓を推進し、自動化・DX・GXに貢献する新たな技術の開発と提案に全社一丸となってチャレンジしてまいります。

当期の期末配当金につきましては、1株当たり13円といたします。今後は自己資本の充実および成長戦略への資源配分を行いながら、株主の皆様への還元を充実させていくことを基本的な方針としてまいりたいと存じます。

株主の皆様におかれましては、引き続き一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長 社長執行役員

鈴木敦士

2023年6月

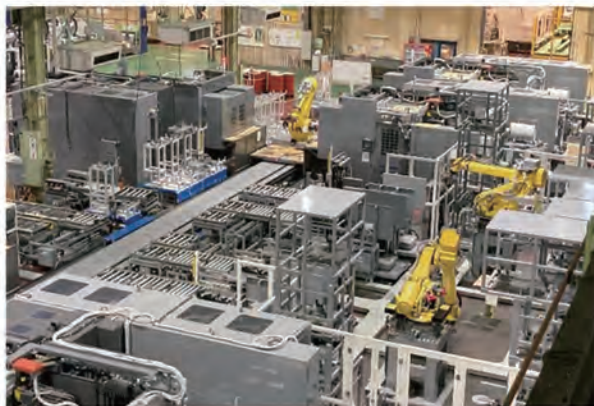
2022年4月1日から2023年3月31日に至る当社グループ第155期連結会計年度の事業の概況をご報告申し上げます。

工作機械関連事業

当連結会計年度における日本工作機械工業会(日工会)の受注総額は1兆7,056億円(前期比2.3%増)と昨年度に続き内外需とも好調を維持してきました。

当社の工作機械関連事業におきましては、特に自動車業界におけるEV量産化投資が本格化しない中、エンジン関連の設備投資も落ち込んでいる状況下において、これまで取り組んできました商社との関係強化や、新たな市場開拓への営業活動を行ってまいりましたが、自動車業界の落ち込みを補うほどの受注を得ることはできず、当連結会計年度の受注総額は11,792百万円(前期比21.4%減)、期末の受注残高は5,843百万円(前期比19.2%減)となりました。損益面においては、アジアを中心とした海外の売上げが伸び悩んだ一方、国内において汎用機の売上げ増加をはじめ、システム、パーツでも順調に売上げを伸ばすことができた結果、売上高は13,177百万円(前期比6.2%増)、営業損失においては、販売拡大に向けた開発費や販売費が増加したこともあり332百万円(前期は営業利益142百万円)となりました。

新会計年度においては、サービス部門の人員増加や北米及びアセアン地域での販売体制整備などを行い、一層の改革を進め受注額アップに繋げてまいります。



▲工作機械製造ライン

部品加工関連事業

部品加工関連事業におきましては、顧客の半導体不足等による生産減少の影響もありましたが、主要顧客の堅調な需要を受けて増収となり、売上高は11,565百万円(前期比1.3%増)となりました。損益面におきましては、生産性向上活動などの費用削減を行ってきましたが、エネルギー費等の原価高騰の影響を受け、営業利益は362百万円(前期比35.0%減)となりました。

今後におきましては、国内・海外共に主要顧客からの仕事量が堅調に推移する事、また、積極的な受注活動による新規部品の生産開始により、売上増を見込んでおります。当社を取り巻く環境の変化に柔軟に対応し、日本・ベトナム両国でのグローバルなモノづくりを推進してまいります。



▲エンジンブロック自動加工ライン

■ エンシュウコネクティッド株式会社

【SIer事業】

3Dステレオカメラをロボットに装着して高難度の組立てができるロボットやAIを使用して製品仕分けができるロボットのデモ機を製作し商社に納品いたしました。また、協働ロボット2台を使用したワーク供給システムの立上げを現在行っております。

今後、他社設備を使用したセットアップや、計測を含めたロボットインテグレーション等に対応していく予定です。



▲ 3Dステレオカメラを装着したロボット

【IoT事業】

IoTのデータ収集装置やシステムラインでのトレーサビリティシステムについて多くの受注をいただきました。また、切削設備以外の分野からの引合いも多くいただいております。切削設備以外の分野でのIoTシステムの開発にも力を入れ、工場のDX化に貢献してまいります。

■ 展 示 会

【北米・東南アジアなど海外市場】

2022年9月、IMTS (USAシカゴ展示会) が4年振りに開催されました。パレットシステムなど北米市場に特化した展示を行い、非常に多くの引合いをいただきました。

2022年11月、タイBITEC国際展示場にてMETALEX2022が開催され、タイ及び近隣諸国から多くの来場がありました。タイ工場にて生産予定の2機種を展示し、ご好評をいただきました。

2023年4月、中国北京にてCIMT2023が開催されました。当社ブースに前回実績を大きく上回る方にご訪問いただき、出展した中国法人での生産機(ガントリー仕様)は多くの方にご好評をいただきました。



▲IMTS (USA・シカゴ)



▲METALEX (タイ・バンコク)

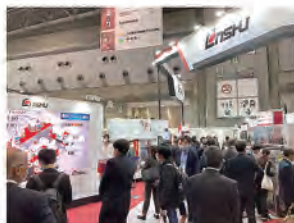


▲CIMT (中国・北京)

【日本市場】

2022年11月、JIMTOF2022 (第31回日本国際工作機械見本市) が開催され、当社からは新機種の「Saving Center」シリーズを初出展いたしました。「繋ぐ技術を、世界へ」をテーマに各種ソリューション(自動化・省人化・生産性向上)の提案を行い、ご好評をいただきました。

また、商社との関係強化、汎用機の販売強化を図るため、やらまいか2023、どてらい市など商社との合同展示会を積極的に実施いたしました。



▲JIMTOF2022



▲やらまいか2023

■ 部品加工関連事業 新規ライン立ち上げ

積極的な受注活動による多くの新規部品の生産準備を実施しており、今後の売上増加に向けて取り組んでおります。新規ラインでは、工作機械事業が強みとする自動化の技術を展開しております。



▲バッテリー部品自動加工ライン



▲当社マシニングセンタを使用した生産ライン

15 陸の豊かさも
守ろう



SDGs 社会貢献活動



花のリレープロジェクト



エンシュウ百年の森

環境活動を通じて人とつながる

当社は、SDGsの社会貢献活動として清掃活動、森林整備活動など地域環境活動に取り組んでおります。

昨年「第32回全国花のまちづくりコンクール」で優秀賞を受賞した「花のリレー・プロジェクト」に毎年参加しております。また、森林整備活動の「エンシュウ百年の森」では植樹エリアを拡大してヤマザクラ等を当社の社員とその家族等が参加し植樹や下草刈等の管理をしております。

今後も、環境活動を通じて人とつながり、豊かな環境を持続できるよう社員の環境意識の向上を図り、次世代へつなげてまいります。

Global Network

ENSHU のグローバルネットワーク

海外での製造・販売・サービス網を整備し、拡販しております。

ENSHU (QINGDAO) Limited
Suzhou branch office



ENSHU (QINGDAO) LIMITED
ENSHU (QINGDAO) MACHINERY CO.,LTD.



ENSHU (USA) CORPORATION



ENSHU Limited (Head Office)



ENSHU Limited (Hamakita Factories)



ENSHU INDIA PVT Ltd.



ENSHU(Thailand)Limited
BANGKOK ENSHU MACHINERY Co.,Ltd.



PT. ENSHU INDONESIA

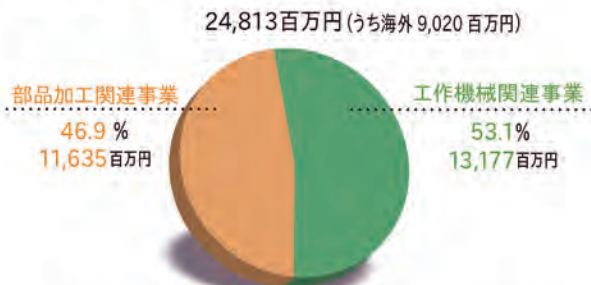


ENSHU VIETNAM Co.,Ltd



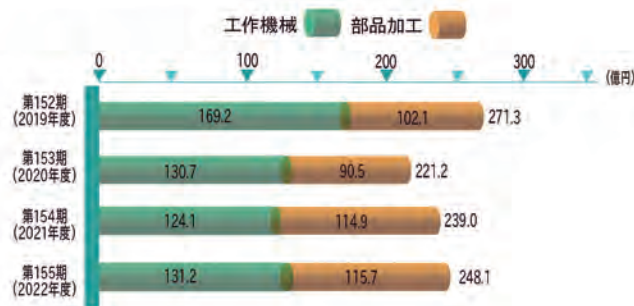
ENSHU USA CORPORATION
MEXICO R.O.W.I

事業別売上高 第155期(2022年度)

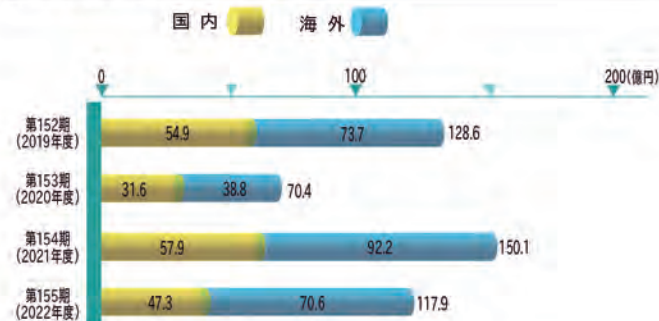


(注)その他部門70百万円については部品加工関連事業に含んでおります。

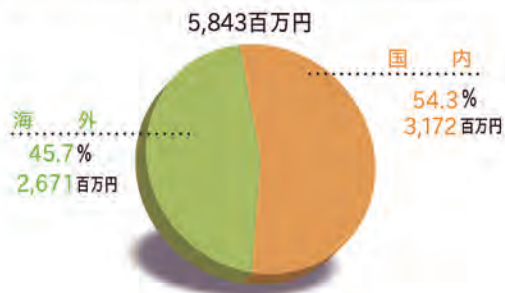
事業別売上高



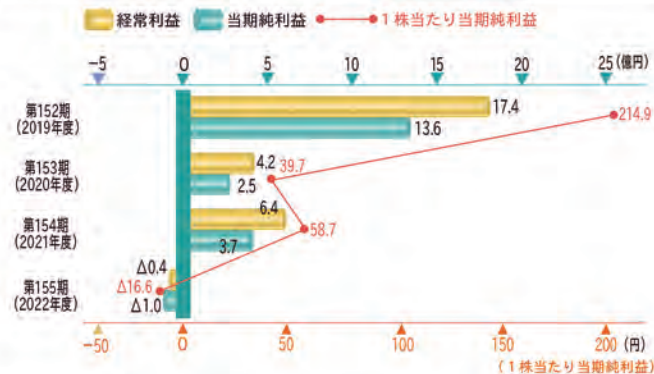
工作機械関連事業の受注高



工作機械関連事業の受注残高(2023年3月)



全社損益



連結貸借対照表 (2023年3月31日現在)

(単位 百万円 百万円未満は切捨て)

項 目	金 額	項 目	金 額
●資産の部●		●負債の部●	
流 動 資 産	19,442	流 動 負 債	14,912
現金及び預金	4,588	支払手形及び買掛金	1,732
受取手形及び売掛金	4,685	電子記録債務	2,125
電子記録債権	1,217	短期借入金	7,924
商品及び製品	3,233	1年内償還予定の社債	520
仕 掛 品	3,182	リ ー ス 債 務	57
原材料及び貯蔵品	2,093	未 払 法 人 税 等	84
そ の 他	448	契 約 負 債	846
貸倒引当金	△7	賞 与 引 当 金	430
固 定 資 産	14,684	関係会社清算損失引当金	13
有 形 固 定 資 産	14,239	そ の 他	1,178
建物及び構築物	2,544	固 定 負 債	7,893
機械装置及び運搬具	2,989	社 債	1,580
土 地	7,392	長 期 借 入 金	1,415
リ ー ス 資 産	332	リ ー ス 債 務	342
建設仮勘定	241	繰 延 税 金 負 債	197
そ の 他	738	再評価に係る繰延税金負債	1,563
無 形 固 定 資 産	103	退職給付に係る負債	2,613
リ ー ス 資 産	34	資 産 除 去 債 務	40
そ の 他	68	そ の 他	140
投資その他の資産	341	負 債 合 計	22,805
投資有価証券	115	●純資産の部●	
繰延税金資産	79	株 主 資 本	7,222
そ の 他	158	資 本 金	4,640
貸倒引当金	△11	利 益 剰 余 金	2,652
繰 延 資 産	41	自 己 株 式	△70
資 産 合 計	34,168	その他の包括利益累計額	4,140
		その他有価証券評価差額金	2
		土地再評価差額金	3,666
		為替換算調整勘定	901
		退職給付に係る調整累計額	△429
		純 資 産 合 計	11,362
		負債及び純資産合計	34,168

連結損益計算書(要旨) 自2022年4月1日 至2023年3月31日

(単位 百万円 百万円未満は切捨て)

項 目	金 額
売 上 高	24,813
売 上 原 価	21,243
売 上 総 利 益	3,569
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	3,490
営 業 利 益	79
営 業 外 収 益	121
営 業 外 費 用	241
経 常 損 失 (Δ)	Δ39
特 別 利 益	148
特 別 損 失	2
税金等調整前当期純利益	106
法人税住民税及び事業税	270
法人税等調整額	Δ59
当 期 純 損 失 (Δ)	Δ104
親会社株主に帰属する当期純損失 (Δ)	Δ104

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

自2022年4月1日
至2023年3月31日

(単位 百万円 百万円未満は切捨て)

項 目	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー	Δ1,312
投資活動によるキャッシュ・フロー	Δ845
財務活動によるキャッシュ・フロー	Δ254
現金及び現金同等物に係る換算差額	305
現金及び現金同等物の増減額(Δは減少)	Δ2,106
現金及び現金同等物の期首残高	6,599
現金及び現金同等物の期末残高	4,493

連結株主資本等変動計算書 自2022年4月1日 至2023年3月31日

(単位 百万円 百万円未満は切捨て)

残高及び変動事由	株 主 資 本			
	資 本 金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
2022年4月1日残高	4,640	2,839	Δ70	7,409
連結会計年度中の変動額				
剰余金の配当		Δ81		Δ81
親会社株主に帰属する 当期純損失(Δ)		Δ104		Δ104
自己株式の取得			Δ0	Δ0
株主資本以外の項目 の連結会計年度中の 変動額(純額)				
連結会計年度中の変動額合計	—	Δ186	Δ0	Δ187
2023年3月31日残高	4,640	2,652	Δ70	7,222

残高及び変動事由	その他の包括利益累計額					純資産 合計
	その 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	土 地 再 評 価 差 額 金	為 替 換 算 調 整 勘 定	退 職 給 付 に 係 る 調 整 累 計 額	そ の 他 の 利 益 累 計 額 合 計	
2022年4月1日残高	2	3,666	475	Δ848	3,295	10,705
連結会計年度中の変動額						
剰余金の配当						Δ81
親会社株主に帰属する 当期純損失(Δ)						Δ104
自己株式の取得						Δ0
株主資本以外の項目 の連結会計年度中の 変動額(純額)	0		425	418	844	844
連結会計年度中の変動額合計	0	—	425	418	844	657
2023年3月31日残高	2	3,666	901	Δ429	4,140	11,362

個別貸借対照表 (2023年3月31日現在)

(単位 百万円 百万円未満は切捨て)

項目	金額	項目	金額
●資産の部●		●負債の部●	
流動資産	16,273	流動負債	14,168
現金及び預金	3,361	支払手形	27
受取手形	109	買掛金	1,650
売掛金	5,046	電子記録債務	2,125
電子記録債権	1,217	短期借入金	7,924
商品及び製品	1,490	1年内償還予定の社債	520
仕掛品	3,095	リース債務	54
原材料及び貯蔵品	1,443	未払費用	485
関係会社短期貸付金	160	未払法人税等	113
未収入金	23	未払法人税等	36
未収消費税等	203	契約負債	424
前払費用	49	預り金	122
その他	73	賞与引当金	430
貸倒引当金	△0	関係会社清算損失引当金	51
固定資産	14,930	営業外電子記録債務	192
有形固定資産	12,852	その他	10
建物	1,780	固定負債	7,134
構築物	149	長期借入金	1,415
機械及び装置	2,666	社債	1,580
車両運搬具	11	リース債務	341
工具、器具及び備品	364	再評価に係る繰延税金負債	1,563
土地	7,392	繰延税金負債	1
リース資産	321	退職給付引当金	2,156
建設仮勘定	165	資産除去債務	40
無形固定資産	98	長期預り保証金	35
ソフトウェア	64	負債合計	21,302
リース資産	34	●純資産の部●	
投資その他の資産	1,979	株主資本	6,273
投資有価証券	13	資本金	4,640
関係会社株式	515	利益剰余金	1,703
出資	0	利益準備金	23
関係会社出資金	1,331	その他利益剰余金	1,679
関係会社長期貸付金	65	繰越利益剰余金	1,679
従業員に対する長期貸付金	21	自己株式	△70
長期前払費用	27	評価・換算差額等	3,669
その他	14	その他有価証券評価差額金	2
貸倒引当金	△10	土地再評価差額金	3,666
繰延資産	41	純資産合計	9,942
社債発行費	41	負債及び純資産合計	31,245
資産合計	31,245		

個別損益計算書(要旨) 自2022年4月1日 至2023年3月31日

(単位 百万円 百万円未満は切捨て)

項 目	金 額
売 上 高	22,307
売 上 原 価	20,191
売 上 総 利 益	2,116
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	2,642
営 業 損 失 (△)	△525
営 業 外 収 益	1,180
営 業 外 費 用	251
経 常 利 益	403
特 別 利 益	147
特 別 損 失	1
税 引 前 当 期 純 利 益	549
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税	106
当 期 純 利 益	443

個別株主資本等変動計算書 自2022年4月1日 至2023年3月31日

(単位 百万円 百万円未満は切捨て)

残高及び変動事由	株 主 資 本					
	資本金	利 益 剰 余 金			自己株式	株主資本合計
		利 益 準 備 金	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金 合 計		
2022年4月1日残高	4,640	15	1,326	1,342	△70	5,912
事業年度中の変動額						
剰余金の配当		8	△90	△81		△81
当期純利益			443	443		443
自己株式の取得					△0	△0
株主資本以外の項目の事業年度中の変動額(純額)						
事業年度中の変動額合計	—	8	353	361	△0	360
2023年3月31日残高	4,640	23	1,679	1,703	△70	6,273

残高及び変動事由	評価・換算差額等			純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	土地再評価 差 額 金	評 価 ・ 換 算 差 額 等 合 計	
2022年4月1日残高	2	3,666	3,668	9,581
事業年度中の変動額				
剰余金の配当				△81
当期純利益				443
自己株式の取得				△0
株主資本以外の項目の事業年度中の変動額(純額)	0		0	0
事業年度中の変動額合計	0	—	0	361
2023年3月31日残高	2	3,666	3,669	9,942



Stock Report

株式の状況
(2023年3月31日現在)

1. 株式の総数・資本金

株主総数	4,985名
発行可能株式総数	15,000,000株
1単元の株式数	100株
発行済株式の総数	6,353,454株
	(自己株式 48,722株を含む)

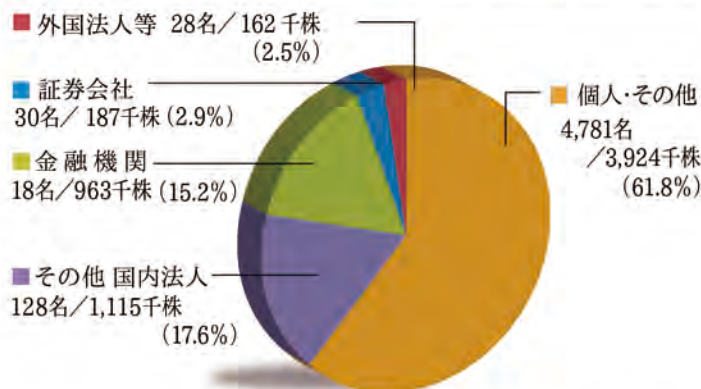
2. 大株主

エンシュウ取引先持株会	912,790株(14.47%)
ヤマハ発動機株式会社	645,739株(10.24%)
日本スタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	264,800株(4.20%)
浜松ホトニクス株式会社	200,000株(3.17%)
株式会社みずほ銀行	157,267株(2.49%)
みずほ信託銀行株式会社	145,500株(2.30%)
株式会社りそな銀行	141,425株(2.24%)
エンシュウ従業員持株会	133,121株(2.11%)
池浦捷行	114,800株(1.82%)
INTERACTIVE BROKERS LLC	104,000株(1.64%)

(注)比率は発行済株式総数から自己株式を控除して計算しております。(小数点第3位以下を切り捨て)

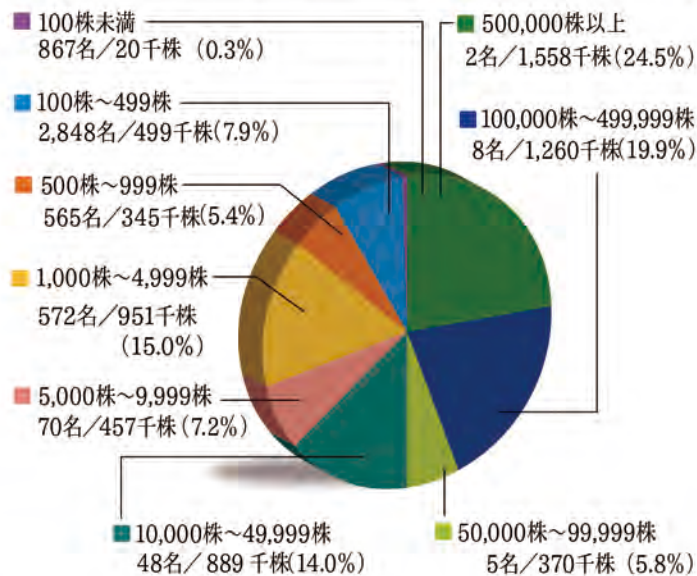
3. 株主の構成

所有者別株式分布状況 合計:4,985名/6,353千株



(注)株数は千株未満を切り捨てて表示しております。

所有株数別分布状況 合計:4,985名/6,353千株



(注)株数は千株未満を切り捨てて表示しております。

Company Profile 会社の概況

商号	エンシュウ株式会社(英文ENSHU Limited)
設立	1920年2月5日
資本金	46億4,085万円
従業員数	1,025名(連結)(2023年3月31日現在)
生産品目	工作機械、輸送機器関連部品 レーザー加工機

事業所

本社及び工場 〒432-8522 静岡県浜松市南区高塚町4888 電話053-447-2111(代)

浜北工場 〒434-0016 静岡県浜松市浜北区根堅788 電話053-588-0211(代)

営業部・支店

営業部 〒434-0016 静岡県浜松市浜北区根堅788 電話053-588-2670

東京支店 〒140-0011 東京都品川区東大井4-13-15 (スターハイツ)
電話03-5479-1671(代)

大阪支店 〒564-0063 大阪府吹田市江坂町1-23-43 (ファサード江坂ビル)
電話06-6338-2471(代)

サービスステーション / 東北・金沢・広島・九州

関係会社

エンシュウコネクティッド株式会社
〒432-8522 静岡県浜松市南区高塚町4888 電話053-447-2189

海外拠点

ENSHU (USA) CORPORATION	(アメリカ・シカゴ近郊)
ENSHU USA CORPORATION MEXICO R.O.W.I	(メキシコ・ケレタロ)
ENSHU (Thailand) Limited	(タイ・バンコク近郊)
BANGKOK ENSHU MACHINERY Co.,Ltd.	(タイ・バンコク近郊)
PT.ENSHU INDONESIA	(インドネシア・ジャカルタ近郊)
ENSHU (QINGDAO) LIMITED	(中国・青島)
ENSHU (QINGDAO) MACHINERY CO.,LTD.	(中国・青島)
ENSHU(QINGDAO) Limited Suzhou branch office	(中国・蘇州)
ENSHU INDIA PVT Ltd.	(インド・グルガオン)
ENSHU VIETNAM Co.,Ltd.	(ベトナム・ハノイ近郊)

取締役体制

(2023年6月29日現在)

代表取締役会長兼CEO	勝倉宏和
代表取締役社長兼COO	鈴木敦士
社外取締役	墨岡良一
取締役 (常勤監査等委員)	中山喜則
社外取締役 (監査等委員)	森和彦
社外取締役 (監査等委員)	村松奈緒美

執行役員体制

(2023年6月29日現在)

会長執行役員CEO	勝倉宏和
社長執行役員COO	鈴木敦士
常務執行役員 (技術・製造本部長)	田代繁甲
常務執行役員 (営業本部長)	加藤猛
上席執行役員 (技術・製造本部 副本部長)	板垣成信
上席執行役員CTO (技術・製造本部 副本部長)	山田博之
執行役員 (事業管理グループ長)	栗田和典
執行役員CFO (経営管理グループ長)	大野裕哉

株式事務のご案内(株主メモ)

事業年度	毎年4月1日～翌年3月31日
剰余金の配当の基準日 (期末配当)	3月31日
(中間配当)	9月30日
定時株主総会	毎年6月下旬 なお、定時株主総会において権利を行使することができる株主は、毎年3月31日最終の株主名簿に登録された議決権を有する株主となります。
単元株式数	100株
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目3番3号 みずほ信託銀行株式会社
事務取扱場所	みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
公告方法	電子公告 (https://www.enshu.co.jp/koukou/) ただし、やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載して行います。
株式の上場	東京証券取引所プライム市場

株式事務のお問い合わせ先

	証券会社等で株式を保有されている場合	証券会社等で株式を保有されていない場合 (特別口座の場合)
住所変更、株式配当 受取り方法の変更および マイナンバーのお届出 などのお問い合わせ	お取引の証券会社等になります。	みずほ信託銀行 証券代行部 ホームページ https://www.mizuho-tb.co.jp/daikou/index.html
未払配当金、その他当社 株式関係書類について のお問い合わせ	右記みずほ信託銀行まで お問い合わせ願います。	フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く 9:00～17:00)
株主総会資料の電子提供 制度(書面交付請求)に ついてのお問い合わせ	お取引の証券会社または右記みずほ 信託銀行までお問い合わせ願います。	電子提供制度専用ダイヤル 0120-524-324 (土・日・祝日を除く 9:00～17:00)
ご注意	特別口座では、単元未満株式の買取以外の 株式売買はできません。 株式の売買にあたっては、証券会社等に 口座を開設し、株式の口座振替手続を行 っていただく必要があります。	
株式等に関するマイナン バーのお届出のお願い	・株式等の税務関係のお手続に関しては、マイナンバーのお届出が必要です。 ・届出が済んでいない株主さまは、上記お問い合わせ先へマイナンバーのお届出をお願いします。	

単元未満株式(1～99株)を 保有されている株主の皆様へ

単元未満株式は
市場における自由な売買ができません。

単元未満株式(1株から99株)を保有されて
いる株主の皆様からの、単元未満株式の買取
請求をお受けしております。手数料はかかりま
せん。

当社株主名簿管理人・特別口座管理機関
みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
にお問合せください。
0120-288-324 (フリーダイヤル)

【ご注意】

なお、証券会社等の一般口座で保有する単元未満
株式については、お取引の証券会社等を通じて
お手続きをしていただくようになりますので、株式の
お取引の証券会社等にお問合せください。
お取引の証券会社独自の手数料がかかる場合
がございます。



当社はインターネット上で最新の情報を皆様へ提供しております。
ホームページアドレス
<https://www.enshu.co.jp>